企画展示

令和7年度（2025年度）秋季特別展

「生誕110年記念　西村公朝展　釈迦十大弟子を彫る」



平成6年（1994年）、釈迦が入滅した歳と同じ80歳（数え年）を迎えた西村公朝は、十大弟子像を年に一体ずつ彫ることを発願した。展覧会では、《十大弟子像》（京都・愛宕念仏寺蔵）を10年ぶりに当館で公開。あわせて、公朝が十大弟子像の構想にあたり残したデッサンや研究資料、制作の様子を記録した映像資料等を紹介し、さらに十大弟子像制作時期の他の作品や著作を展示。西村公朝の晩年の業績を取り上げた。

アンケートには、「製作途中など資料が豊富だった」「クイズラリーでじっくり仏像の表情を見ることができた」「予備知識なくても楽しめた」「子どものための資料があった」（子ども向けのガイドを受付で配布）という記述があった。

展覧会を通じ、西村公朝と当館の館蔵品を発信することができた。また、開催を記念し、公朝の業績を紹介する「西村公朝アーカイブ」をホームページに公開した。今後継続して内容を充実させていく予定である。

会期	10月18日～11月24日　（33日間）
会場	特別展示室、常設展示室（近世コーナー）
出品点数	31点
観覧者数	1,473人

広報・取材　市報、博物館HP、吹田市Facebook、吹田市LINE、吹田市コミュニティバス内デジタルサイネージ、吹田市役所内デジタルサイネージ、京都新聞（2025年11月1日付朝刊）、『清水』第236号（清水寺、2026年2月28日）


展示風景


展示解説


知的障がい者向けワークショップ「Sama-Sama 塾」in すいはく

関連イベント

実施日	イベント名	講師等	参加人数
10月18日	オープニングイベント 開会式&展示解説	解説：河島明子（当館学芸員）	49人
10月18日	講演会「公朝先生が携わった文化財修復とは　大報恩寺　十大弟子像を例に」	片山毅氏（公益財団法人美術院養成部長・京都国立博物館工房長）	32人
10月26日	クイズラリー		13人
11月1日	講演会「西村公朝先生の仏像研究　仏像彫刻に仏師の技と心を探る」	山崎隆之氏（愛知県立芸術大学名誉教授）	35人
11月8日	知的障がい者向けワークショップ「Sama-Sama 塾」in すいはく	信田敏宏氏（国立民族学博物館教授・「みんぱくSama-Sama塾」主宰）	18人
11月9日	特別館長によるギャラリートーク	中牧弘允（当館特別館長）	8人
11月9日	クイズラリー	吹博の会	7人
11月16日	担当学芸員による展示解説	河島明子（当館学芸員）	37人
11月23日	クイズラリー	吹博の会	22人
		合計	221人

担当　河島